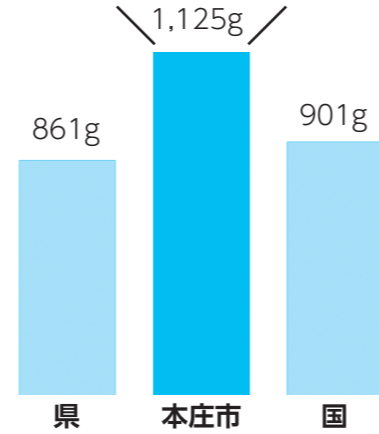


～少しでもごみを減らすために～

10月は3R月間です

本庄市のごみの排出量が県内でも多いことは知っていますか。令和2年度に市から排出された1人1日当たりのごみの量は1,125g。県平均の861g、国平均の901gを大幅に超えています。少しでもごみを減らせるよう、3Rを実践してみませんか。



■3Rとは

～ごみを減らす3つのR～

3Rとはごみを減らすためにできる3つのこと、Reduce、Reuse、Recycleの総称です。覚えて実践していきましょう。

Reduce(リデュース) 使う資源やごみを減らすこと
食べ残しをしない、マイバッグで買い物をする、生ごみの水切りをするなど

Reuse(リユース) 物を繰り返し使うこと
壊れたものは修理して使う、不要となったものは必要としている人に譲るなど

Recycle(リサイクル) ごみを資源として再利用すること
ごみを正しく分別する、リサイクル製品を選ぶなど

■パネルで学ぶ3R

3R推進月間パネル展を開催

緑のカーテンコンテスト作品展と同時開催で3R推進月間パネル展を開催します

●第1回

日時 10月17日(月)～20日(木) 午前8時30分～午後5時15分

※20日は午後3時まで。

会場 市役所1階市民ホール

●第2回

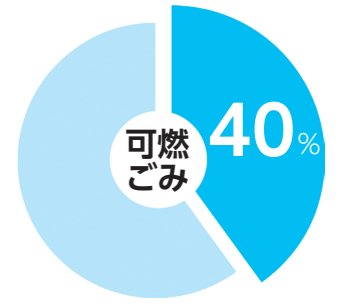
日時 10月24日(月)～27日(木) 午前9時～午後5時

※24日は午後1時から、27日は午後3時まで。

会場 セルディ1階展示スペース

～少しでもごみを減らすために～ 10月は3R月間です 生ごみの減量(リデュース)に挑戦

市の可燃ごみのうち約40%が生ごみです。生ごみを減らすことが、ごみ減量の大きな鍵となります。家庭でできる生ごみの減量の簡単テクニックを紹介します。



■生ごみの水切りで減量

生ごみの重量の80%が水分です。ごみを出す前に水切りをすると重量を10%減らせます。市では、家庭からでた生ごみをひと絞りする「生ごみ水切り運動」を推進しています。

生ごみに触れずに水切りができるグッズも販売されています。市が㈱カインズと共同開発した「生ごみ水切り袋」もその一つです。全国のカインズ(一部店舗を除く)及びオンラインショップで購入できます。



■ダンボールコンポストで減量

ダンボールコンポストとは、ダンボールを利用した生ごみ処理機です。基材の中にいる微生物が投入した生ごみを分解する仕組みになっています。生ごみを分解した基材は、やがて野菜や草花を育てるための堆肥になります。ダンボールコンポストを始めるために必要な材料は、ホームセンターなどでそろいます。材料や作り方など、詳しくは市HPへ。



集団資源回収予定表 <古紙類・缶類> ※天候等で変更になる場合もありますので、各団体にご確認ください。

回収場所	日程	時間	問合せ先
アスピアこだま	10月2日(日)、11月6日(日)	午前9時～11時	ハートtoハート(佐久間さんち) ☎22-9300
市役所	10月16日(日)	午前9時～午後1時	
本庄南公民館 ※布類回収も実施	10月8日(土)	午前9時～11時	佐久間さんち☎22-9300
就労継続支援B型事業所「佐久間さんち」(本庄高校北側)	随時受付		ポノポノ☎23-2195

■令和4年7月分のごみの量(可燃・不燃・有害・粗大)

家庭系ごみ排出量 1,648.39t 1人1日当たりのごみ排出量 約684g 前年同月比 -47g (-6.9%)

事業系ごみ排出量 714.22t 1人1日当たりのごみ排出量 約296g 前年同月比 -41g (-13.9%)

埼玉県の平均に比べ、家庭系のごみの排出量が多い状況にあります。生ごみの水切りや資源物の分別に加えて、家庭での食品ロス対策等を実践するなど、ごみの減量化・資源化に更なるご協力をお願いします。

※埼玉県内の1人1日当たりのごみ排出量は家庭系ごみが544g、事業系ごみが182g(令和2年度実績)

ダンボールコンポスト講習会を開催

ダンボールコンポストの作り方を学びます。講習会終了後には、自宅ですぐにできるダンボールコンポストセットも無料配布します。また、アフターフォローの講習会も開催します。

日時 10月20日(木)、11月17日(木) 全2回 午前10時～11時30分

会場 市役所2階職員厚生室

講師 花里 政江 氏(NPO法人循環生活研究所 ダンボールコンポストネットワーク ダンボールコンポストアドバイザー)

定員 15名(先着順)

費用 無料

用意 筆記用具、飲み物

申込 10月7日(金)から電話または直接環境推進課へ

